

金門 金門の歴史と閩南文化（金門）

テーマ:自然・文化・歴史



福建省南部の沿海に位置する金門は、独特の地理条件と歴史を持つ島。かつて国共内戦の時代には台湾と中国大陸が対峙する最前線となり、当時の軍事遺跡が島内に多数残る。

また、福建南部に由来する閩南文化や海外に渡った人々の影響など、多様な文化が融合した地域でもある。島内には伝統的な閩南式建築の古民家が点在し、村の守り神とされる風獅爺(ふうしやじい)が各地に置かれているのも特徴で、金門を象徴する存在として知られている。

企画視点

主要都市からのアクセス 主要都市:金門

アクセス:台北、台中、嘉義、台南、高雄、澎湖(馬公空港)から国内線で40分~1時間

周辺の地図 <https://maps.app.goo.gl/Um4Btpi98UXh62yc7>

旅行会社の企画視点

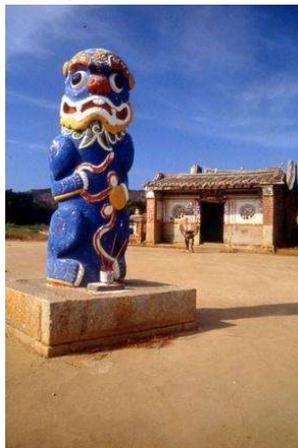


台湾本島とは異なる歴史と文化を持つ離島で、軍事遺跡や閩南建築の集落など景観が特徴的。

台湾本島観光に加えた離島ツアーとして企画でき、歴史・文化・自然をテーマにした特色ある周遊コースの造成が可能。

山后民俗文化村、金門国家公園、翟山坑道

地域資源の視点



金門は国共内戦の軍事遺跡と閩南文化が色濃く残る歴史文化資源。伝統的な集落景観や風獅爺、福建由来の生活文化などが今も継承され、台湾本島とは異なる歴史的背景と地域文化を伝える貴重な文化景観資源となっている。

旧暦4月 金門迎城隍-浯島宗教文化観光フェスティバル
9月/10月 高粱旧市街風獅爺文化祭

関連情報リンク先

金門県政府 [金門観光旅行サイト](#)

問い合わせ先 / 画像提供:台湾観光庁